

10月とは思えないほどの日差しの強い日が続いておりますが、新年がはじまってから早半年…と書いていたら、あっという間にもう10月ですね。

10月といえば、読書の秋ということで、先日子ども達のおすすめの本を子ども達と一緒に読みました。昔話・民話・ファンタジー・ミステリー・ノンフィクションなど…。いろいろ一緒に読んでいたところ、うるうるとした本がありました。それは「あなたの声がききたい」という聴覚障害を持つ両親のもとに生まれ、言葉で会話が出来ないもどかしさを感じながら成長していく、とても感動する本でした。

子ども達が大きくなってきて、同じ屋根の下にいても、それぞれバラバラで好きな時間を過ごしていたので、子ども達と時間を共有できて良かったと思います。

まだまだたくさんおすすめされた本があるので、少しずつ読みたいと思います。



売買部：小野田和那

ひとくちメモ

「秋の味覚」



収穫の秋になると店頭にも秋の味覚が並びます。秋の言葉の「あき」には「飽きないほどの食べ物がある時期」から来ているという説もあるほど…。

代表的な味覚のひとつが 柿。9月頃から出回りますが、10月下旬から11月中旬が旬。「柿が赤くなれば医者が青くなる」といわれる健康食品。ミカンに次いで多くのビタミンCが含まれる他にビタミンB1、B2、カロテン(カロチン)、ミネラルが含まれ栄養価は高い。熱がある時や二日酔いにもよく、利尿効果があります。また、渋柿は干し柿として食べますが、柿の渋は防腐剤や染料に用いられます。

他にも、栗・ブドウ・リンゴ・新米など、十分に食が満喫できる季節です。

3年連続 県内売上高 No.1 株式会社 いわき土地建物
ご相談下さい フリーコールで No.1の不動産屋へ みんな行く
0800-123-3719

ひとくちメモ

◇2022年基準地価◇

国土交通省は9月20日、2022年7月1日時点の基準地価を発表しました。全国の全用途平均は、0.3%上昇し3年ぶりに上昇に転じ、住宅地の全国平均は前年比0.1%上昇で31年ぶりに上昇となりました。全国の最高価格地は17年連続で銀座一丁目駅近接商業地のビルで、1㎡あたり3,930万円となっています。

福島県の全用途平均は2019年の東日本台風の影響が大きく0.5%減と3年連続でマイナス、住宅地で0.1%減、いわき市の平均変動率は、住宅地で0.3%減と3年連続でマイナスとなりました。いわき市の最高価格は、住宅地が平字作町三丁目の1㎡あたり80,800円(前年比800円増)、商業地は平字小太郎町の1㎡あたり103,000円(前年比2,000円増)。いわき市においても2019年東日本台風の影響が大きかった平中平窪の下落率は全国4位・県内2位、下平窪の下落率は県内3位になるなど、下落率は大きくなっています。また、いわき市の商業地は、JRいわき駅前の大型ホテル開発計画や大型分譲マンションの建設が進んでいることが影響し、1.3%増と10年連続のプラスになりました。

空家、空地のお悩み、ございませんか？

(株)いわき土地建物では、いわき市内で空家や空室、空地の管理を承っております。

固定資産税+αで古家の借り上げも可能です。

是非、弊社にご相談ください。(株)いわき土地建物 売買

全国空き家相談士協会認定 空き家相談士(1)第001382号 鈴木慎一 0800-123-3719

資金計画 | 自己資金 | 住宅ローン | 税金 | 建物状況調査 | 引越し

これを読めば、不動産取引の基本的な流れが良くわかる！



『住まい探しのお悩み解決BOOK』

この度、土地・中古住宅の購入における基本的な流れや、不動産取引の様々な事について一冊の本にまとめてみました。これを読めば不動産取引の基本的な流れが良くお分かり頂けると思います。この冊子をご希望の方は小島東店までご連絡ください。

無料進呈中 0800-123-3719